

第4期の活動を終えるに当たって



甲府市男女共同参画推進委員会第4期は42名の委員でスタート致しました。

今期は、東・西・南・北・中央の5ブロック編成でブロック毎にテーマを設定して研修を重ねる一方、広報・編集・イベントの係別活動を全員で分担して取り組み各々素晴らしい成果を残すことができました。

自治会・関係団体からの推薦を受けての参加・公募による参加等、温度差がある中で各ブロック・係別のリーダーを中心に月に1回の定例会だけでは足りず、お互いに予定を調整しながら南庁舎に集まり、納得いくまで話し合いを重ね、資料づくり、パネルづくり等の活動を続けて参りました。

「男女共同参画」の基礎知識の学習・甲府大好きまつりでの広報活動・甲府市役所市民活動室でのパネル展・広報「こうふ」へのクイズ掲載・NWEC（国立女性教育センター）のフォーラム、および日本女性会議への参加・ニュースレター「ふえあねす」の発行・甲府市総合市民会館でのパネル展とフォーラムの開催・地域におけるアンケート調査とパネル展による啓発活動・活動報告書の作成等々、本当に盛り沢山の活動でした。

推進委員の皆様、この経験を基に足元から「男女共同参画」を広げて参りましょう。
ご協力心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

甲府市男女共同参画推進委員会委員長 矢崎 孝子

第4期の活動と、男女共同参画を通じたこれから



2014年5月、私は公募により男女共同参画事業に初めて携わることになりました。移住者である私は、家族で農業を経営する中でまわりの農家さんによく言われることがあります。「お嫁さんは農業を手伝ってくれる人じゃないとダメだね!」独身である私にとっては、もちろん自身の職業を深く理解し、なお且つ身近でサポートしてくれたら嬉しい限りであります。しかしながら、最初から形を決めつけられることに少々疑問を抱いておりました。そんなこともあって男女共同参画に関わったのです。

私は右も左も分からぬまま委員会の副委員長としてスタートしました。「ジェンダー!」「クオータ制!」などなど初めて聞く言葉に最初は戸惑いましたが、まわりの方々からのアドバイス、時には叱りを励みとし、委員会活動を行いました。

甲府大好きまつりでは、お祭りに来た人が積極的に男女共同参画啓発ブースに参加し声をかけてくれ、この活動にやりがいを感じ、形になっている!と実感しました。

これから先20代、30代の若い世代の活動が重要視されてくるはずです。私の本業、農業にも女性の働き手が増え男女共同参画推進が一層進み、更に農業ばかりでなく社会的にも、若い世代が積極的に参加出来るような環境が整うことを願っております。

甲府市男女共同参画推進委員会副委員長 山崎 将